

各位

遠鉄バスが安全対策を強化
 ～衝突被害軽減ブレーキ、衝突防止補助システムを追加装備～

遠州鉄道株式会社（本社／浜松市中区旭町 社長／齊藤 薫）では、バス輸送時における更なる安全性の向上を目的として、運転者の安全運転を支援する先進技術装備を追加導入して参ります。

国土交通省によりますと、貸切バスによる人身事故 388 件のうち、追突事故が最も多く、全体の 36.6%（142 件）を占めております（平成 25 年度実績）。そこで「事故を未然に防ぐ」ことこそが重要であるという考えの下、「より早い段階」での事故抑制効果発揮を目的として、「中部国際空港直行バス e-wing」専用車両・「遠鉄高速バス e-LineR」専用車両ならびに貸切バス車両に対し、以下の通り各種安全対策の取り組みを実施致します。

是非ご案内方、お取り計らいの程、宜しくお願い申し上げます。

記

1. 『衝突被害軽減ブレーキ』の追加装備

現在保有している車両のうち装備可能な車両に対し、『衝突被害軽減ブレーキ』の追加装備を平成 28 年 4 月より開始し、平成 28 年 8 月末までに計 16 両への装備を計画しております。

追加装備は、「浜松～品川・横浜」間の夜行便を運行している「遠鉄高速バス e-LineR」専用車両より着手しており、これにより今月以降の夜行便は、※全便が『衝突被害軽減ブレーキ』装備車両での運行となっております。（※運行状況によりやむを得ず代替車両使用の場合もあります）

【衝突被害軽減ブレーキ】

高速走行中、車両設置のセンサーが前方障害物を検知（距離・速度等を演算）






- ① 衝突の危険性ありと判断 ⇒ **警告音作動**
 - ② 回避行動が無く衝突の危険性が更に高まる ⇒ **強い警告音、自動緩ブレーキ作動**
 - ③ 衝突が避けられないと判断 ⇒ **より強い警告音、自動急ブレーキ作動**
- ※『衝突被害軽減ブレーキ』は、あくまで衝突時の被害を軽減させる装置です

2. 『衝突防止補助システム』の追加装備

現在保有している車両の一部に、『衝突防止補助システム』を平成 28 年 3 月より追加装備を開始し、平成 28 年 9 月末までに計 98 両への装備を計画しております。

【衝突防止補助システム】

車両設置のカメラが、前方の車両・人物・車線をモニターし、様々な危険状況に対して警報音にて運転者に警告

前方車両衝突警報（ノビービービービー）	歩行者衝突警報（ノビー ビー）	前方車間距離警報（ノビーン）
前方のあらゆる車両やオートバイをモニターし、追突の危険が2.7秒以内に差し迫った場合に警告。 	昼間の歩行者や自転車に乗った人を識別。2秒以内に衝突すると判断した場合に警告。 	前方車両までの距離を自車の速度で割った、“秒単位の車間距離”をリアルタイムでアイコン表示。事前に設定した秒数よりも車間距離が短くなると、警告。 
低速時前方車両衝突警報（ノビッピーピッ） 渋滞や信号待ちの際に、あらかじめ設定した仮想バンパーの範囲内に前方車両が入ると警告。 	車線逸脱警報（ノルルルルル） 時速55Km以上で走行中、ウィンカーを出さずに車線を越えた場合に警告。 	> 機能によって警報音が異なります

3. 運転者携帯『眠気検知センサー』の追加導入

平成 28 年 1 月より、「遠鉄高速バス e-LineR」夜行便の安全対策として、運転者携帯用の『眠気検知センサー』を 5 基導入しておりますが、この度、対象とする輸送の範囲を広げるべく、30 基の追加導入をいたしました。

今回の追加導入により、従来の「遠鉄高速バス e-LineR」夜行便に加え、弊社主催旅行「バンビツアー」や一般貸切輸送における深夜輸送についても、ICT の力で安全輸送をサポート致します。

【眠気検知センサー】

高度な眠気検知技術により、脈波のゆらぎから自覚のない「眠気の予兆」を検知

- ① 耳たぶの血管から個人毎に異なる脈波データをセンサーで収集し、眠気やドライバー自身も気づかない眠気の予兆を検知 ⇒音声と振動で通知
- ② 運行管理者にもメールにて通知 ⇒リアルタイムで運行管理者から安全運行をサポート
- ③ センサーで収集したデータを分析 ⇒眠気を「見える化」し、データに基づいた安全運行マネジメントを実現

4. 安全装置装備車両数内訳

		保有台数	実施前 装備台数	追加装備 計画台数	実施後 装備台数
e-wing車両	衝突被害軽減ブレーキ	16	0	5	5
	衝突防止補助システム		5	6	11
e-LineR車両	衝突被害軽減ブレーキ	9	2	2	4
	衝突防止補助システム		5	4	9
貸切車両	衝突被害軽減ブレーキ	160	24	9	33
	衝突防止補助システム		34	88	122
合計	衝突被害軽減ブレーキ	185	26	16	42
	衝突防止補助システム		44	98	142

※安全装置追加装備に加え、計画的に新規車両導入を実施し、老朽化抑止に努めます。

5. 安全装置追加装備後写真

